



そういうことね！倫理綱領



第1回 前文

前文について、言葉の意味を細かく確認しながら内容を確認し、わかりやすい言葉に変換してみました。すると、前文は倫理綱領をまとめた内容で、選手宣誓のような内容に見えてきました。

みなさんは、どう思いますか？？

●部会で使用した資料（委員が順番に資料作成しています）

「われわれ精神保健福祉士は、**個人としての尊厳を尊び**、人と環境の関係をとらえる視点を持ち、**共生社会の実現**を目指し、社会福祉学を基盤とする精神保健福祉士の価値・理論・実践をもって精神保健福祉の向上に努めるとともに、**クライアントの社会的復権・権利擁護**と福祉のための専門的・社会的活動を行う専門職としての資質の向上に努め、誠実に倫理綱領に基づく責務を担う」

【気になるキーワードの意味の再確認】

尊厳：尊く厳かなこと、気高く犯しがたいこと（概念）

尊重：尊いものとして大切に扱うこと（行為）

個人の尊厳を尊ぶ：個々の人間がその多様な存在のまま尊重され、互いの違いを寛容すること。

共生社会：障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型社会のこと。

社会的復権：精神疾患を持ちながらも理不尽な状況に陥ることなく生きる権利が保障されること。

権利擁護：すべての人の自己実現、自己決定を尊重し、権利を行使できるよう支援するもの。

●前文は倫理綱領をまとめた内容で、選手宣誓のような部分だと思った。

わたしたち精神保健福祉士は、あなたを一人の人間として大切にし、あなたが社会において自分で選んだ生き方で生活し、他者と相互に認めあいながら共存していけることを目指します。そのために、あなたのこれまでの人生や今の困りごと、周りの環境について教えてほしいです。その情報をもとに、精神保健福祉士の価値・理論・実践をもってあなたらしく生活するための力を取り戻していけるように一緒に考えるだけでなく、社会に対しても働きかけていきます。そのために、日々専門職としての資質を向上させる努力を続け、専門職としてのルールに基づき誠実にあなたと向き合っていくことを誓います。



【皆さんと話したいこと】

尊厳を傷つけてしまうような場面は意外と日々の中でたくさん起きてるのでは。現場での対応で、どんなことが尊厳を傷つけていることになるのか、どう防げばいいか、考えてみたいです。

例：紙パンツ購入の話を複数人の利用者や職員がいる場所で話す。

ほかの業務で忙しく、後で聞きますと言ってそのまま忘れて聞かなかった。

(担当) 八津川/ 2023. 7. 14

●部会内で話し合ったこと

前文は重要なキーワードが羅列されているが、単純に読むと難解でスムーズに理解できない。そこで、文中の用語を辞書等で再確認し、その含意を噛みくだいて自分の言葉で考えることに挑戦した企画であった。

それによると、前文は「倫理綱領をまとめた内容」であり、「選手宣誓」のような部分であるという。この指摘が参加者にも新鮮な気づきであった。確かに私たちが普段していること（専門職としての業務や守ろうとしている価値）がそこに示されている。さらには対象者の方に説明する上でも伝えやすい表現であった。

私たちは理不尽な対応や虐待といった大きなことについては行っていないと言えるが、小さな部分で、例えば尊厳を傷つけていたりすることはないだろうか。

つい自分の考えを中心に関わってしまったたり、多忙にかまけて大事なことを相談しようとする勇気を持って来られた可能性のある方にちょっと忙しいと簡単に言ってそのまま忘れてしまっていないだろうか。その実践の先に共生社会の実現があるのか。参加者の各立場から思い当たる場面を共有した。

(意見一部)

- ・ 言論の自由と先日の ryuchell さんの自死
- ・ 制度をきちんと理解しないままの対応
- ・ 現場に慣れることで緩んでくる感性
- ・ 感覚を麻痺させないと生きていけない入院患者たち
- ・ 本人の意向を聞かず事業所都合で対応することに疑問さえ持たずまかり通る実態
- ・ ワーワー言う人だからと対応を拒否。しかし、話をしっかり聞いたら筋が取っていると分かる。

時間を割いていないのでは。人が足りないことを理由にはいけないのでは。

などなど。

世間の事情も「確かに正論だよな」という部分はある。だからと言って何でもしてよいのか、倫理的に考えてどうなのかを考え続けていきたい。

今回のような形で倫理綱領を理解していけば誰にでも理解しやすい。大学の授業でも使えそうであるし、「倫理綱領解説」といったビデオを作ってもいいかもしれない。